

「患者参加型火災時避難訓練の実施」

医療法人財団はまゆう会 新王子病院

○豊田紘平 田中歩美 白石あかね 本田哲朗 山崎頌太 溝上恵美 渡辺貴子
原口美佐 荻堂幸男 箴島明彦

【目的】

患者参加型火災時避難訓練(以下訓練)を計画し、訓練を通じて今後の課題を明確にする。

【方法】

訓練には患者 61 名、職員 61 名が参加した。血液回路を通常どおりにテープ固定し非常ベルと共にコンソールの警報音を鳴らした状態で独歩・担送による避難を行い、人員配置・避難誘導方法を検討した。

【結果および考察】

実際に患者が参加し、警報音を鳴らした状態で独歩・担送による避難を行った事で、臨場感ある訓練となった。事前に練習をしていた為、ケガもなく迅速に行えたが、避難中階段での渋滞、夜間時や患者誘導・搬送を行う人員の不足・搬送方法などの問題点が見つかった。実際は担送の患者に多くの人員を必要とし、他部署からの協力・連携が不可欠である。

【結語】

訓練に参加した患者・職員は一定の火災に対するイメージを持てたが、病院全体での取り組みの必要性を強く感じた。今後も継続して行い火災への意識向上に努めていく必要がある。